

たんぽぽ

秋田県立大曲支援学校
せんぼく校

地域支援部報 第2号
令和8年10月26日



創立10周年記念式典が行われました

10月10日（土）、たくさんの来賓、家族の方々にご参加いただき、創立10周年記念式典が盛会に行われました。

第1部の表彰式では、高等部生が司会進行や感謝状の進達を務めました。第2部のアトラクションでは、小・中学部による劇、高等部による太鼓演奏、せんぼく校の歌「たんぽぽ」を披露し、10年分の感謝の気持ちを伝えました。

全校児童生徒一人一人の力を発揮し、たくさんの笑顔が溢れる式典になりました。その陰には、様々な支援が工夫されています。笑顔を支えていた「これがあれば大丈夫。うまくいく。」そんな秘策を一部紹介します。

■「いつ終わるの?」「何人表彰するの?」イライラしやすい子には

◎見通しがもちやすい支援（終わりが分かると安心）

- ① 学級指導の中で、一日のスケジュール確認
- ② 個別の支援
- ・「式の流れプリント」やタブレット端末アプリでスケジュールを使用しました。

♥終わった項目はシールなどでチェックする。

♥表彰される人数分の枠と、キャラクターのシールで、小学部1年生も長時間の儀式に着席できました。

※座り続ける力がまだ十分でない場合は、ねらいを共有して部分的に参加するケースもあります。



■発表原稿を読み飛ばしてしまう子には

◎視覚処理の負担感を軽減する支援

- ① 原稿は、1文ずつ改行する。
- ② 言葉のまとまりを囲む。
- ③ 読みやすい文字の大きさにする。



■台詞や動きを忘れてしまいそうな子には

◎記憶の負担感を軽減する支援

- ① 手本にできたり、教えてくれたりする友達とペアにする。
- ② 合図「せーの!」、パターン的な流れにする。
- ③ 顔を上げて正面を見て話す部分は、原稿にマーカーラインを引く。



～ 自己有能感を高め、達成感を味わえる振り返り学習 ～

各学部で式典の録画動画を見ながら振り返り学習をしました。子供達は、お客様の反応を確認したり、友達から評価を聞いたりすることで、頑張っている自分や周囲の方々に喜んでもらっていることに気付くことができ、自己有能感を高めて自信につながっていました。また、一人一人の目標や振り返りの学習プリントや保護者からのメッセージを廊下に掲示することで、多くの方々に頑張りを認めてもらえる機会になり、より一層、達成感を得ることができました。



みんなが分かりやすい授業づくり

通常の学級には、障害のある児童生徒を含め、多様な児童生徒が在籍していると思われます。どの子どもにとっても安心して学べる学級の中で、分かりやすい授業づくりを進めることが大切です。

子どもたちが主体的、意欲的に活動し、「分かった」「できた」を実感できるように行われる「指導の工夫」の観点と具体例について、秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドラインには次のように掲載されています。

○全ての子どもが参加できるような「指導の工夫」

- ・学級内の理解促進 ～間違いや分からないことを受容し、お互いを認め合う関係づくり
- ・ルールの明確化 ～発言や聞く態度、ノート書き方等のルールの明確化と共有
- ・刺激量の調整 ～光や音、室温への配慮。学習のねらいや活動に応じた教材の提示
- ・場の構造化 ～整理整頓、活動や動線を考慮した教材の配慮
- ・時間の構造化 ～活動の順番や所要時間、終了時刻や目安時間の事前提示

○全ての子どもが理解できるような「指導の工夫」

- ・焦点化 ～学習のねらいの焦点化
- ・展開の構造化 ～学習のねらいを達成するための学習展開を吟味
- ・スモールステップ化～課題達成のための「踏み台」づくり（子どもの実態に応じて活用）

※秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドラインには、「指導の工夫」を行った上で、必要に応じて行う「個別の配慮」や「個別指導」についても掲載されていますので、ご覧ください。

【参照】秋田県教育委員会（R6.3）：秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドライン（四訂版）



秋田県立大曲支援学校せんぼく校

副校長：時田 航

教育専門監：菅原咲希子（大曲支援学校）

地域支援部：佐々木奈織

〒014-0372 仙北市角館町小館77番地2

TEL 0187-42-8568

FAX 0187-42-8569

メールアドレス senboku-s@akita-pref.ed.jp